

データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出す。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能である。

Excel-VBAで作成してある（Microsoft社のExcelが必要（WindowsXP Excel2002で動作確認を行っております。））。

手順概要：

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は町丁字等別集計その1の場合は「SELH17KK1S.xls」になる。プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれる。

1. Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
抜き出したい項目に*を入れる。
2. 抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、実行する。

補足：

町丁字等別集計は集計値のほかに次の情報が付加されている。この情報はRID項目に記録されている。

(1) 秘匿情報

町丁字等別集計は秘匿措置がされている。秘匿情報は秘匿地域の町丁字等コードであり、秘匿先、秘匿元の2種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

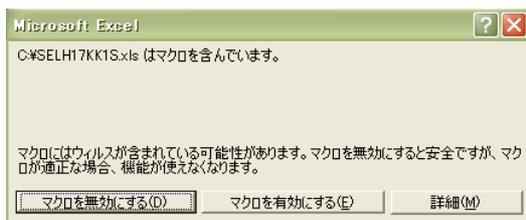
(2) 町丁字等名称

漢字の町丁字等名称を記録している。

操作手順:

1. 抽出プログラムを起動する。

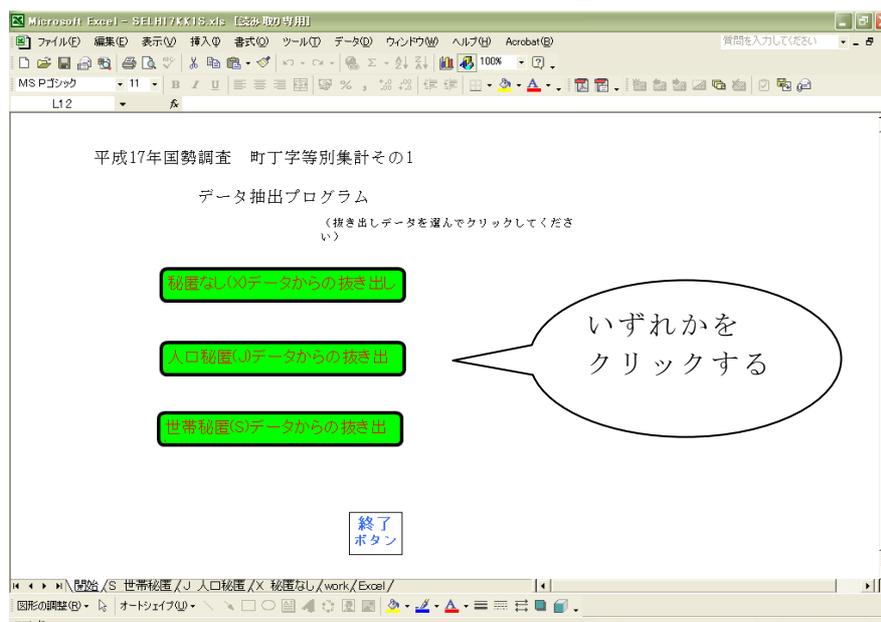
「SELH17KK1S.xls」をExcelに読み込んでください。次の画面が表示されたら「マクロを有効にする (E)」をクリックする。



この画面が表示されない場合はExcelの「ツール」、「マクロ」、「セキュリティ」でセキュリティレベルを「中」にしてください。

2. 最初の画面で秘匿タイプを選ぶ。

クリックするとそれぞれのタイプの項目選択Excelシートが表示される。



秘匿タイプは次の3種類があり、種類ごとにファイルが分かれている。

人口数秘匿タイプ：「一般世帯数」と「施設等の世帯人員」の合計が1～6の地域。

世帯数秘匿タイプ：「一般世帯数」が1～6の地域。

秘匿なしタイプ：秘匿はない（人口総数、世帯総数など）

（各ファイルの集計項目は次の画面で表示される。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。ドキュメントの項目一覧表はファイル別になっている）

3. Excelシート上に必要事項を記入（キーイン）する。

(1) RIDの選択

ファイルアイデントから市区町村番号(3)+町丁字等コード(6)までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。また、第3列目（C列）以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目（D列）、第5列目（E列）と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。

Microsoft Excel - SELH17KK1S.xls [読み取り専用]

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Acrobat(B) 質問

MS 明朝 10 B I U 100%

A1 指標値型データの抜き出し

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		指標値型データの抜き出し							
2		平成17年国勢調査 小地域集計 町丁字等別集計その1							
3		---	世帯数秘匿	---					
4		以下の区分で必要なものがあれば項目の横（の罫）にコードを記述する							抽出条件はこちら
5		記述例： 市区町村番号の201と202を抽出対象とする場合							
6			1	2	3	...			
7		"市区町村番号"	201	202					
8									
9									
10		必要な項目には*を	1	2	3	...			
11	*	"ファイルアイデント"							
12	*	"県番号"							
13	*	"市区町村番号"							
14	*	"表章地域区分"							
15	*	"町丁字等コード"							
16	*	"都道府県名"							
17	*	"市区町村名"							
18	*	"町丁字等名称"							
19	*	"秘匿区分"							
20	*	"秘匿・合算符号"							
21	*	"秘匿地域コード"							
22	*	"市区町村番号(3) + 町丁字等コード(6)"							
23									
24		以下はデータ項目							
25		抜き出す項目を*にする。							
26		指定が終了したら、このボタンを押す。----->							
27									
28	*	世帯1/006表・表頭1番目；一般世帯数総数(世帯)							
29		世帯2/006表・表頭2番目；一般世帯数合算総数(世帯)							
30		世帯3/006表・表頭3番目；一般世帯数単独世帯(世帯)							
31		世帯4/006表・表頭4番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							
32		世帯5/006表・表頭5番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							
33		世帯6/006表・表頭6番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							
34		世帯7/006表・表頭7番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							
35		世帯8/006表・表頭8番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							
36		世帯9/006表・表頭9番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							
37		世帯10/006表・表頭10番目；一般世帯数(再)3世代世帯(世帯)							

項目の入っていない箇所に*を入れるとERRORが出るので注意

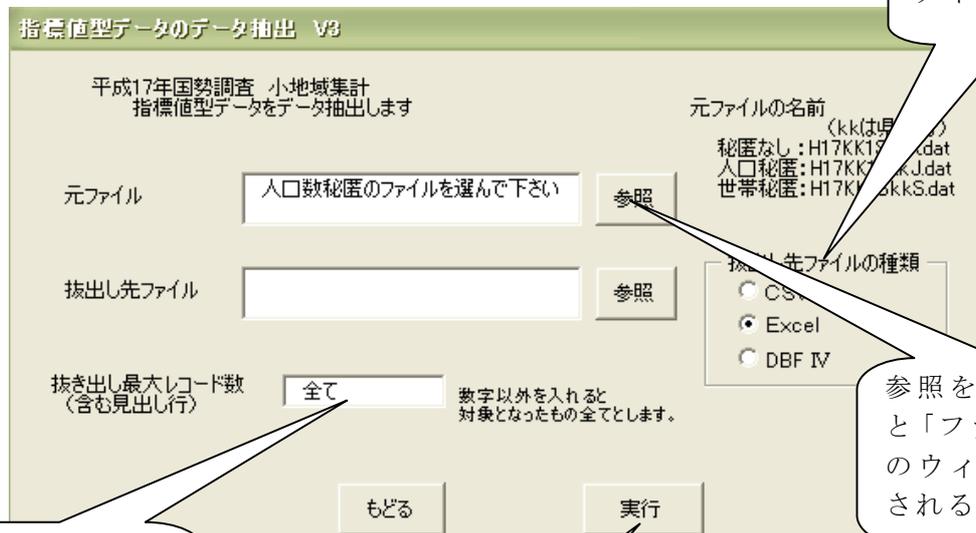
必要な項目に*を入れる。*は全角でも半角でもOK。

抜き出し開始ボタン

指示が終わったらここをクリックする。抜き出し画面が表示される。

コマンド

4. 指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

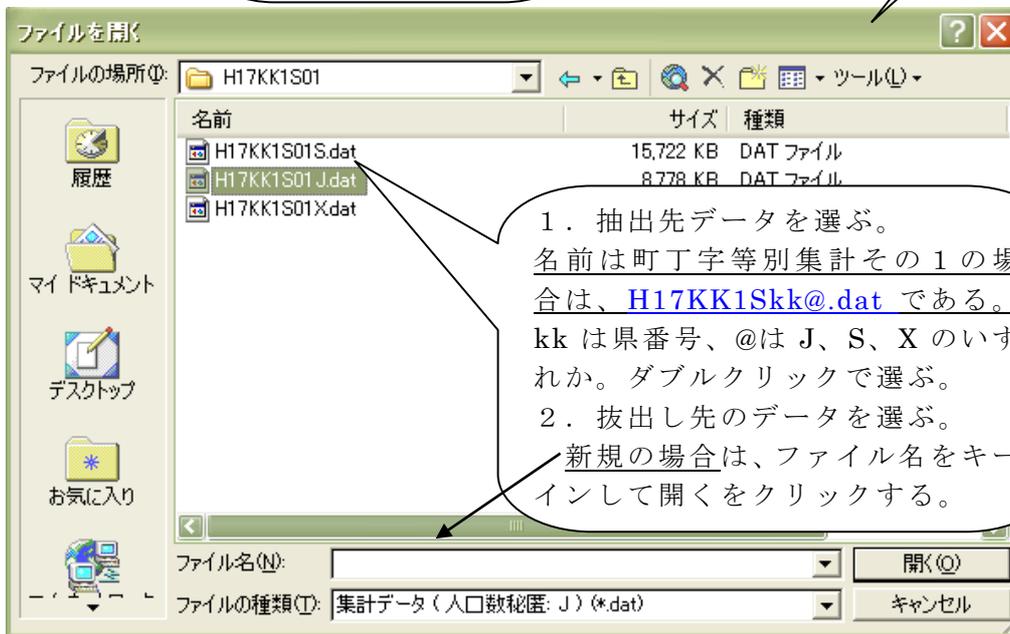


抜き出し結果のタイプを選ぶ。

参照をクリックすると「ファイルを開く」のウィザードが表示される。

抽出最大数を指定する。全ての場合は、「全て」と指定する。

抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。



1. 抽出先データを選ぶ。
名前は町丁字等別集計その1の場合は、H17KK1Skk@.dat である。
kkは県番号、@はJ、S、Xのいずれか。ダブルクリックで選ぶ。
2. 抽出先のデータを選ぶ。
新規の場合は、ファイル名をキーインして開くをクリックする。

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。

抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

(1) 秘匿について：

平成17年集計での秘匿は一定規模以下の地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿は次の3タイプとなっており、指標値型CSVデータは集計表をこの3タイプに分類し、タイプごとに1地域で1レコードとしてとりまとめたものである。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域（町丁字等別の場合、原則は直前の地域）に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報はCSVデータの秘匿区分、及び秘匿・合算符号に記録している。

1. 人口に関する秘匿

各地域において一般世帯数と施設等の世帯人員の合計が1～6の場合に秘匿する。

2. 世帯に関する秘匿

各地域において一般世帯数が1～6の地域が秘匿される。

3. 秘匿なし

秘匿措置なし

TEXT形式としてシンフォニカから提供中の集計表と秘匿の関係は次のとおりである。指標値型CSVデータは秘匿が同じものをタイプごとに1つのファイルにまとめている。

町丁字等別集計その1

人口に関する秘匿：第3表，第4表

世帯に関する秘匿：第6～8表

秘匿なし：第2表，第5表

町丁字等別集計その2

人口に関する秘匿：第9～12表

町丁字等別集計その3

人口に関する秘匿：第14表

世帯に関する秘匿：第13表

従業地・通学地

人口に関する秘匿：第15表

(2) 集計データについて：

集計値なしは数字の「0」、秘匿され隠されたデータはブランク1桁の「 」としている。